

表H'-1 世帯調査票(掛川調査)

世帯番号	昭和43年度			調査員氏名
クイブ	児童養育調査・世帯票			調査年月日 昭和43年8月 日
世帯主氏名	地区-区	-	主な回答者	夫・妻
			点	検

あいさつ(聞く相手は1~6頁は児童の親である夫もしくは妻、7~8頁は必ず妻)
 すでにお願ひしてあります児童養育調査のことでおうかがいしました。少しばかりおたずねしたいことがありますので、30分ほどお邪魔させていただきます。私はこの調査のお手伝いをしていますと申します。どうかよろしくお願ひします。

I まず、お子さんについておたずねします。

(1)	(2)	(3)	(4) 発達段階	(5) 収入	(6) その使	(7) 子	(8) 自	(9) 身	(10) 体	
記	性	生年月(満年齢)	1イ 幼児でない児童 1ロ 幼児 2 小学生 3 中学生 4イ 全日制高校生 4ロ 定時制高校生	5イ 短大・高専生(1部) 5ロ 短大・高専生(2部) 5ハ 大学生(1部) 5ニ 大学生(2部) 6 中学卒 7 高校卒	取入の④で 4.ロ 5.ロ 5.ニ 6.7 の有無	の使 取 入 方 1.全部家へ 2.一部家へ 3.入れない	子 供 養 費 1.1人専用 2.他の子と共用 3.なし	自 分 専 用 の 給 養 機 の 有 無	身 長 en	体 重 kg
第1子	男・女	S 年月(歳月)		公立	有・無	1・2・3	1・2・3	有・無		
第2子	男・女	S 年月(歳月)		公立	有・無	1・2・3	1・2・3	有・無		
第3子	男・女	S 年月(歳月)		公立	有・無	1・2・3	1・2・3	有・無		

- ① 不要の欄は斜線で消す。たとえば、第1子だけの時は、第2子、第3子を消しておく。子がない時は全部消す。この注意は以下にもあてはまる。
 - ②③ あらかじめ書きこんでおいて、回答者について確かめる。Sは昭和のこと、以下同じ。
 - ④ 精薄などで特殊学校へ入っている場合には、年齢相当の該当校種を番号で記入し、△印でその番号を囲む。
 - ⑥-1 「全部家へ入れる」というのは、収入の全部を一応家計に入れた上で、小遣をもらうものをさす。
 -2 「一部家へ入れる」というのは、入れる金額の多少や、収入のなかで占める比率の大小にかかわらない。
 1・2・3のうちあてはまるものを○印で囲む、この注意は以下1・2・3……の場合にすべて該当する。
 - ⑧⑨ 通知簿で調べてもらって、正確な数字を記入する。
- (11) お子さんは、このほかになくなった方はありませんか。

1. ある→そのお子さんは、何番目の方ですか(数字×印)、男児でしたか女児でしたか(男女に○印)
 2. ない (1)(2)を転記 (数字は出生順位)

1	2	3	4	5
男	女	男	女	男
女	男	女	男	女

不要欄は斜線で消す。

II ご夫婦と仕事をしているお子さんについておたずねします。

(12) 続柄	(13) 生年月(満年齢)	(14) 常用勤労者であるなしとその種類	(15) 企業の従業員規模	(16) 自営業・家内労働・日雇・内職の有無	(17) 学歴	(18) 平均月収 千円
夫	T 年月(歳月)	無・1・2・3	1・2・0	無・有()	1・2・3・4・5・0 卒在	
妻	T 年月(歳月)	無・1・2・3	1・2・0	無・有()	1・2・3・4・5・0 卒在	
第1子	S 年月(歳月)	無・1・2・3	1・2・0	無・有()	2・3・4・5 卒在	
第2子	S 年月(歳月)	無・1・2・3	1・2・0	無・有()	2・3・4・5 卒在	

⑫⑬「あらかじめ書きこんでおいて、回答者について確かめる。

⑭「常用勤労者の種類」は、1. 専門技術・管理・事務、2. 販売・サービス、3. 運輸通信・工員・単純労働者など。

⑮「企業の従業員規模」は、1. 29人まで、2. 30～999人、3. 1,000人以上、官公庁

⑯で1～3のどれかに該当するときは、必ず⑭にも記入される。

⑯で1～3のどれかに該当するときでも、⑭になお該当することがあるから注意。

⑰「学歴」は、1. 小学校 2. 旧制高等小学校・新制中学校 3. 旧制中学・高女・実業学校・新制高校 4. 旧制高専・新制高専・短大 5. 大学 0. 無就学

卒業者は卒を、在学中は在を○で囲む。中退は1段階下の学歴とする。

⑱「平均月収」は、ボーナスを含めて平均を算出する。

(19) ご主人は、職場までふだんどんな乗物で通勤していますか。(○印は1つとは限らない)

1. 徒歩 2. 自転車 3. オートバイ・スクーター 4. 自家用車 5. バス 6. 電車・汽車

(20) 職場まで何十分くらいかかりますか。

時間 分

(21) (妻が働いている場合—⑯で1～3か、⑱有に該当するとき)

おくさんは何年前から働いていますか。

年前

(22) おくさんの収入は現在何に使いますか。(○印は1つとは限らない。そのときは主なものに◎印)

1. 家計のために 2. 多額な月賦支払いのため 3. 子どもの教育費のため
4. 土地住宅資金として 5. レジャーのため 6. 貯金 7. その他

(23) (妻が⑯で1～3のどれかに該当する場合)

おくさんの職場まで何十分くらいかかりますか。

時間 分

(24) 勤務時間は1週間で何時間になりますか。

時間

(25) おたくには、病気がちでよく医者にかかる方がいますか。

1. いない 2. いる(第2子、妻などの記号が続柄で書く)

(26) 現在、病気で休んでいる方や医者(歯科医を含む)にかかっている方がいますか。

1. いない 2. いる(記号が続柄で記入)

III 家計についておたずねします。

(27) おたくでは、毎日家計簿をつけていますか。

1. つけている 2. つけていない

(27a) 家計簿をつけるのはどなたですか。(続柄で記入)

(28) 月々の収入と支出のつりあいについて、おたくのようすはつぎのどれにあたりますか。

1. 貯金できる→(28a) どの位できますか。

イ. 2千円以内 ロ. 2千円から5千円以内

2. いっぱい、いっぱい。

ハ. 5千円から1万円以内 ニ. 1万円以上

3. たりない→(28b) どの位たりませんか。

イ. 2千円以内 ロ. 2千円から5千円以内

→(28c) 足りない分はどうして補いますか。

ハ. 5千円から1万円以内 ニ. 1万円以上

A. 貯金を出す。 B. 給料の前借りをする。 C. 人から借りる。 D. その他

(29) ボーナスなども含めて1年間の収入支出を考えた場合、収入と支出のつりあいはどうなりますか。

1. 貯金できる→(29a) どの位できますか。

イ. 2万円以内 ロ. 2万円から5万円以内

2. いっぱい、いっぱい

ハ. 5万円から10万円以内 ニ. 10万円以上

3. たりない→(29b) どの位たりませんか。

イ. 2万円以内 ロ. 2万円から5万円以内

ハ. 5万円から10万円以内 ニ. 10万円以上

(30) おたくでは、ご主人は月給を全部おくさんに渡しますか。

1. 全部渡す 2. 一部分小遣いにとっておいて大部分渡す
3. 自分の手もとにもっていて、必要に応じて妻に渡す

(31) それでは、ボーナスはどうですか。

1. 全部渡す 2. 一部分小遣いにとっておいて大部分渡す
3. 自分の手もとにもっていて、必要に応じて妻に渡す 0. ボーナスがない

(32) つぎにあげる器具のうち、おもちのものはどれですか。(○印をつける)

1. テレビ 2. 8ミリカメラ 3. ステレオ 4. ピアノ・オルガン 5. 扇風機 6. 電気洗濯機
7. 電気(ガス)冷蔵庫 8. 電気釜・ガス釜 9. トースター 10. ミキサー・ジューサー
11. 応接セット 12. 電話・有線 13. クーラー 14. オートバイ・スクーター 15. 乗用車

(33) おたくで月ぎめでとっている新聞は何々ですか。

(34) 月ぎめでとっているお子さんの学習雑誌は何々ですか。

IV おたくの住居についておたずねします。

(35) 住居（すまい）の敷地は何坪ありますか。

坪、アパート・間借のため非該当

(36) 敷地はおたくのですか。

1. 持地 2. 借地 3. 非該当

(37) 住宅の構造（観察によって○印をつける）

1. 一戸建て 2. その他
A. 平家 B. 二階建て C. その他
イ. 木造 ロ. 木造モルタル ハ. ブロック建て ニ. 鉄筋アパート

(38) おたくの住居は持家ですか、借家ですか。

1. 持家 2. 給与住宅 3. 公営・公社・公団の借家 4. 民間借家

(39) おたくは、いく部屋ありますか。（玄関・廊下・台所は含めない）

(40) それぞれ何帖ありますか。（板の間も畳敷にして数える）（40a）全部で何帖になりますか。

帖 + 帖 + 帖 + 帖 + 帖 + 帖 → 帖
↓ ↓ ↓ ↓
 (不要の囲みは斜線で消す)

(41) おたくでは、だれがどの部屋に寝ていますか。（続柄か記号によって上の囲みの中に記入する）

(42) 台所はおたくだけで使っていますか。

1. 専用 2. 共用

(43) 風呂場（シャワーだけ、風呂桶だけではなく、入浴用の設備をととのえた空間）はありますか。

1. ある 2. ない

(44) 便所はおたくだけで使っていますか。

1. 専用 2. 共用

(45) (㊸で、1. 持家の場合) 現在の住居はいつからおたくのものになりましたか。

1. 先祖からの家 2. (主人の、妻の) 親が建てた (買った)
3. 自分たちの代で建てた (買った) 4. わからない

→(45a) それはいつでしたか。

昭和 年

→(45b) どのようにして資金をつくりましたか。

1. 全額自己資金 2. 全額借金
3. 自己資金+借金

(46) おたくでは、1～2年以内に増改築や転居の具体的な計画がありますか。

ある (1. 増改築 2. 転居) 3. ない

V 世帯についておたずねします。

(47) おたくで食料品などふだんの買物について、何を買うかをきめるのはどなたですか。（㊸の続柄で記入する。以下同じ。）

(48) おたくで電気器具など金額のはる買物をするとき、買うか、買わないかを最終的にきめるのはどなたですか。

(49) おたくでは世帯としての貯金通帳をどなたが保管していますか。

(50) おたくで部屋の新築・移転など重大な出来事が起ったとき、きめるのはどなたですか。

(51) 一番上のお子さんについて、学校や職業をきめるとき、ご主人とおくさんと、どちらの意見で最終的にきまりますか。

(52) それでは、そのかたについて、ふだんのことがらをきめるとき、ご主人とおくさんと、どちらの意見できまりますか。

(53) おたくで、毎日の煮たきをするのは、主にどなたですか。

(54) おたくで、食事の献立をきめるのは、主にどなたですか。

(55) 世帯主のかたは、どんな理由で世帯主になりましたか。

1. 前世帯主死亡 2. 前世帯主隠居 3. 入婿 4. 分家創立 5. 新世帯形成 (別居)

(56) おたくが、現在のところに家をこまえられたのはいつ頃ですか。（この問いは、家の創立の時代をきいている。家の創立の時代とは、分家もしくは当地へ来住した時点である。なるべく夫にきく。）

1. 明治より前 2. 明治時代 3. 大正時代 4. 昭和20年以前
5. 昭和21年以後 6. 時代不明

→(56a) それはいつですか。

昭和 年

VI ご夫婦についておたずねします

(57) いつ結婚なさいましたか。(事実上結婚生活に入った時)

昭和 年 月

(58) そのときの年齢は(満年齢)でおいくつでしたか。

妻 歳 夫 歳

(59) 姓はどちらの姓を用いていますか。

1. 夫方 2. 妻方

(60) ご主人のごきょうだいは何人ありますか。(生れて1年以内に死亡した者を除く)
その男女別をいって下さい。(数字は出生順位で、その該当の男女を○印でかこむ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

本人は○印, 死亡者は×印を, ○印をつけた男女別の上の空欄を用いて記入する。
不要な欄は捺消する。

(61) おくさんのごきょうだいは何人ありますか。その男女別と現在生きています方をいって下さい。
(上の質問と同じ形式で記入する)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

(62) 出身地(お里)はどちらですか。

夫	1. この家	2. 旧掛川町	妻	1. この家	2. 旧掛川町
	3. 県	市町村		3. 県	市町村

(64) ご両親はご存命ですか。

夫方	1. 父母あり	2. 父のみ	3. 母のみ	4. なし
妻方	1. 父母あり	2. 父のみ	3. 母のみ	4. なし

(66) 親ごさんとこれまでに同居なさったことがありますか。(現在同居していなくとも)

夫方の親と	1. あり	2. なし	3. 結婚前に両親が死亡していた
妻方の親と	1. あり	2. なし	3. 結婚前に両親が死亡していた

(68) 結婚なさる前の生家の職業は何でしたか。

夫方	1. 農家	2. 農家以外の自営業	3. 常用勤労者(事務系・現場)	4. 日雇労働者	5. 無職
妻方	1. 農家	2. 農家以外の自営業	3. 常用勤労者(事務系・現場)	4. 日雇労働者	5. 無職

常用勤労者について, 事務系と現場との区別がわかる場合は, 該当の文字を○でかこむ。

[このページは妻にきく]

VII おくさんにおたずねします。

(70) おくさんの学校はどの程度までやるつもりですか。

1. 中学校まで 2. 高校まで 3. 大学まで 0. 非該当(いない時・卒業している時)

㊟-1 1番上のおくさんは

㊟-2 次のおくさんは

㊟-3 3番目のおくさんは

(71) 1番上の男の子は, どういう職業につくことを希望しますか。

(具体的にいわせて, 調査者が内容をよくつかんだ上で分類する。よくわからぬときは空欄に具体的に記入する)

1. 農業経営者 2. 商店主 3. その他の自営業主 4. 専門技術・事務系職員 5. 販売・サービス系職員 6. 運輸通信・工員・単純労働者 7. 本人の希望にまかせる 8. よくわからない
0. 男の子なし

(72) おたくでは, あと何人子供がほしいと思いますか。(ほしいが, 産めないという場合は0人とする)

0, 1, 2, 3人

(73) 子供の数は, 全体で何人位が理想的だと思いますか。

1, 2, 3, 4, 5人

(73a) —その場合, 男の子と女の子の数はどうなりますか。

男	人	女	人
---	---	---	---

(74) 現在, おくさんはおめでた中ですか。

1. はい 2. いいえ

(75) 世の中には, いろいろな考え方の人がいます。あなたの考え方はつぎの2つのうちどちらに近いでしょうか。

1. 一生懸命働き, 節約してお金をため, 資産をつくりたい。
2. 一生懸命働くが, 貯蓄して資産をつくるよりも, 豊かな消費生活を楽しまたい。

[このページは妻にきく]

(76) もし、かなりまとまった臨時収入(10万円位)があるとすれば、あなたはどのように使いますか。次の中から選んで下さい。

1. 旅行などして楽しみたい。
2. ()を買いたい。(具体的に記入)
3. 親に送金したり、物を買ってやりたい。→(1. 夫の親 2. 妻の親) (○印)
4. 子供の将来のために貯金しておきたい。
5. 自宅を増改築するためにとっておきたい。
6. 老後の生活のためにとっておきたい。
7. 有効な事業(株・債権などを含む)に投資したい。
8. その他() (具体的に記入)

(77) 生活のしかたにはいろいろありますが、つぎにあげる4つのものは、それぞれ違った良さをもっています。この4つの中であなたの生活のしかたはどれが一番近いでしょうか。

1. 子供中心の生活で、とくに子供の教育のためなら、かなりの犠牲もいとわない。
2. 万事、夫の仕事を中心に考えて家計のきりもりをしたい。
3. 現在、なるべく豊かな生活を楽しみたい。
4. 老後や不時の必要に備えるために計画的な生活をしたい。

沢山の質問にお答えくださりまして、どうも有難うございました。

調査員所見